

2025年2月14日

各位

本店所在地 東京都港区赤坂九丁目7番2号
 会社名 ネクセラファーマ株式会社
 (コード番号 4565 東証プライム)
 代表者 代表執行役社長 CEO
 クリストファー・カーギル
 問い合わせ先 IR & コーポレートストラテジー一部
 西下進一郎
 電話番号 03-5962-5718 (代表)

2024年12月期連結業績と前期連結業績との差異に関するお知らせ

2024年12月期連結業績（以下、当期連結業績）と、2023年12月期連結業績（以下、前期連結業績）との差異につき、以下の通りお知らせいたします。当社は2024年12月期の連結業績予想を開示していないため、前期連結業績との差異の説明を行うものです。

1. 当期連結業績と前期連結業績との差異

	売上収益	営業損益	税引前損益	親会社の所有者に帰属する当期損益
前期連結業績 (A) (百万円)	12,766	△9,526	△10,680	△7,193
当期連結業績 (B) (百万円)	28,835	△5,423	△4,662	△4,838
増減額 (B-A) (百万円)	16,069	4,103	6,018	2,355
増減率 (%)	125.9	—	—	—

2. 差異の理由

2023年7月にネクセラファーマジャパン株式会社（以下「NPJ」）を連結範囲に含めたことにより、ピヴラツツ®の販売額が前期は5ヵ月分であったことに対し当期は12ヵ月分であったことから、医薬品販売に関する収益が増加したことに加え、前期は新規の提携契約がなく、マイルストンの達成が3件であったことに対し、当期は新規提携契約による契約一時金1件およびマイルストン5件を達成したことから、契約一時金およびマイルストン収入も増加したことにより、売上収益は前期比16,069百万円増加し、28,835百万円となりました。

主に研究開発への投資の増加、及び円安の影響により研究開発費が前期比1,741百万円増加し、11,816百万円となったこと、NPJ及びNxera Pharma Korea Co., Ltd.を連結範囲に含めたことによる無形資産の償却費を含む販売費及び一般管理費が増加したことにより、販売費及び一般管理費が前期比6,050百万円増加し、16,015百万円となりましたが、売上収益が増加したことから、当期の営業損益、税引前損益および親会社の所有者に帰属する当期損益は前期比改善しました。

ネクセラファーマについて

ネクセラファーマ株式会社は、テクノロジーに立脚したバイオ医薬品企業であり、日本および世界中のアンメットニーズにお応えし、患者さまの生活の質を向上させる新しいスペシャリティ医薬品をお届けすることを目指しています。

日本で販売されている複数の製品に加え、探索から後期臨床段階にある 30 品目を超えるプログラムからなる幅広いパイプラインの開発を、自社で、あるいは大手製薬企業やバイオ医薬品企業との提携により推進しています。このパイプラインは、神経疾患、消化器疾患、免疫疾患、代謝性疾患、希少疾患などの大きく成長する治療分野における主要なアンメットニーズにお応えすることに重点を置いており、業界をリードする独自の GPCR 構造ベース創薬「NxWave™」プラットフォームを活用して、ベストインクラスまたはファーストインクラスの候補化合物を持続的に創出しています。

当社は、東京、大阪、ロンドン、ケンブリッジ、パーゼル、ソウルに主要拠点を展開しており、350 名を超えるグローバル従業員が活躍しています。

詳しくは、ホームページ www.nxera.life/jp をご覧ください。

LinkedIn: [@NxeraPharma](#) | X: [@NxeraPharma](#) | YouTube: [@NxeraPharma](#)